

話題



地域の催し物やまちのできごとを写真で紹介します。

みなとから地域に活力を!(石巻)

3月12日(日)、石巻を考える女性の会主催の「いしのまき港(みなと)フォーラム」が市内のホテルで開催され、一般市民のほか、行政関係者、市長、知事ら350人が参加しました。

会場では、私たちの港「石巻港」を活かした街の未来を、講話やパネルディスカッションで語り合い、「夜景を楽しみたい」「釣りができる場所を」「こどもに夢を与えるような場所に」などの意見に参加者は賛同していました。



備えあれば憂いなし!(雄勝)

3月5日(日)、雄勝婦人防火クラブが各支部役員を対象に、「住宅用火災警報器等の設置促進について」の研修会を、明神老人憩の家において開催しました。

近年は住宅火災による死者数が急増しており、その原因の7割が逃げ遅れによるものだということで、研修会では大惨事を未然に防ぐための火災警報器の必要性や、地域住民への確実な周知の方法について、消防署員から講義を受けるなど、防火に対する心構えを再確認していました。



ひな飾り作ったよ(河南)

須江保育所で3月1日(水)、ひな飾り作りが行われました。

年長のすみれ組では、ウインクをした表情などのおひな様が絵の具で染めた和紙の着物を身にまとい、とてもかわいらしいひな飾りが勢ぞろいしました。

子どもたちは、ひな飾りを見せ合いながら、ひなまつり会の日を待ち遠しそうにしていました。



スポーツで防災意識を高揚

(河北)

2月19日(日)、ビッグバンアリーナで、スポーツを通して防災意識を高めようと防災運動会が行われ、スポーツ少年団や老人クラブ、婦人防火クラブ、消防団など約300人が参加しました。

実際の災害を想定した「貴重品持ち出しリレー」や「非常時炊き出しリレー」、「火事だ出動リレー」など7種目の競技で競い合い、ハプニングあり、笑いありの中、楽しみながら防災の大切さを学びました。

まちの



このコーナーでは、



力の入った熱戦を展開!(牡鹿)

3月4日(土)、牡鹿体育館を会場に「牡鹿地区綱引き選手権大会」が開催されました。大会には15チームが出場し、小学生の部と一般の部に分かれて試合が行われました。

掛け声を合わせながら力の入った熱戦を繰り広げる選手に、応援に詰め掛けた父母らの大きな声援が送られ、笑いのあふれる楽しい大会となりました。



学んだ知識と趣味を これからも(桃生)

ご高齢の方々の生きがい作りを目的に開講している桃生町長生大学の卒業式が2月22日(水)、桃生文化交流会館で行われました。

式では、6人の卒業生一人ひとりに桃生公民館長から卒業証書が授与されました。

卒業生を代表して高橋みね子さん(桃生町神取)は、「これからも新しい経験や出会いを楽しみ、心身共に健康で明るく、学んだ趣味を大切に生かします」と謝辞を述べました。



気合とともに鋭い技の応酬(北上)

平成13年度開催の「新世紀・みやぎ国体デモスポ行事」の開催を記念して行われた「第4回石巻市北上地区にっこり杯少年剣道大会」が2月19日(日)に、北上中学校体育館で開催されました。

この大会は、小学生、中学生男子、中学生女子の3部門で競技が行われ、石巻地方の44チームが参加しました。

競技が始まると、鋭い踏み込みとともに技をくりだす選手に、応援に駆けつけた父母からは盛んに声援が送られました。